正 必勝法

その4

目次

目次	 1
トレードの種類と最適な選択	 2

【FX 必勝法その 4】

トレードの種類と最適な選択

こんにちは、深見純です。

メルマガをお読みいただき、

ありがとうございます。

今回は、

「FX 必勝法その 4」というテーマで、

お伝えさせていただきます。

今回も

最後までお読みいただけたら、

嬉しいです。

今回は

「トレードの種類と最適な選択」

という題目になります。

トレードの種類、最適な選択というのは、

ご自身の性格とか、

そういうご自身と向き合って、

最適な選択ができているかどうかというのが、

すごく**ポイント**になります。

なので、

どれがいい、悪いというよりも、

自分にとって<mark>最適な選択</mark>ができているかというのが、

<mark>大事なポイント</mark>です。

1つ目に、

トレードの種類のほうから、

まずお話をさせていただきます。

トレードの種類は、シンプルに考えます。

順張りと逆張り。

この2つしかないというものです。

上がっていったものを買う、

下がっていったものを売っていく順張り、

下がっていったものを買っていく、

上がっていったものを売っていく逆張り、

この2つしかないのです。

そして、

順張りの中でも、

レンジブレイクアウト型と、

順張りの逆張り、

要は買い戻し、戻り売りの世界です。

下がっていった中の、

押し目のようなもの、

上がっていって、それをまた売っていく。

上がっているけれども、

その最中に、上がりながら下がる。

下がったときにもう1回買っていく買い戻し、

この2つというところです。

そして、**逆張り**の中でも、

<mark>逆張りの逆張り</mark>と、私のほうでは表現します。

下がっていくトレンド、

要は、下降トレンドの中の、さらに1時間足とかで、

グングンまだ下がっている、

下がっている中で買っていくもの。

そして、<mark>順張りの逆張り</mark>。

これは順張りの中でも、お話ししましたが、

考え方によっては、

逆張りの中に入るというものになります。

知っていただきたいのは、

今、<mark>順張りと逆張り</mark>のいろんな種類を

サッと話をしたのですが、

ここが**ポイント**です。

どれが、いいとか悪いとかではなく、

全てに**利点と欠点**が、

50 対 50 であるということを、

知ればいいんです。

そうしないと、

「順張りがいいよ」「いや逆張りがやっぱりいいよ」と、

どれがいい、悪いという話になってしまうのです。

そうではなくて、

全て**に利点と欠点**が、50 対 50 ある。

だって、

相場はそもそもどう動くか分からない。

50 対 50 の世界であると言っているわけですから、

方法論的に考えても、

全てに利点と欠点が 50 対 50 あるのですというところを、

知らなきゃいけないのです。

そうしないと、

「**あれがいい、これがいい**」の話から、

ずっと抜けられないのです。

なので、

自分の性格や、お金に対する考え方に基づいて、

<mark>何にするかを選択する</mark>ことが、ポ**イント**になるのです。

例えば私だったら、

どちらかというと、<mark>完全に逆張り</mark>なのです。

この**逆張り型**が全員にとっていいんですか、 という話になると、それしかないのですかと言うと、 そうでもないのです。

ですので、逆張りであれば、

必ず**利点と欠点**というものがありますし、

順張りであれば、利点と欠点というものがあるので、

その**利点と欠点**を理解すること。

そして、

<mark>その方法、決めたルールを、</mark>

<mark>自分が守れるかどうか</mark>というところが、ポ**イント**なのです。

「順張りがいいよね」とか、

「逆張りがいいよね」ではないというところを、

理解してほしいのです。

「あのインジケーターが効いているから、いいですよね」

ではないということです。

ここでポイント。

1つ決めるところで、

大事なところが、これなのです。

「あなたは、含み損を何%まで正気でいられますか」

というところなのです。

<mark>含み損、何%までその状態でいられるか</mark>ということです。

いつまでその状態でいられるかということです。

これは**リアル**に分かってきます。

これはぜひ想像してみる。

または、ご自身の体験の中で、考えていただきたいのです。

1つの例として、

100万の証拠金で10%、

10万円の含み損を持つと、他が手に付かない。

こういう人がいらっしゃいます。

これ実際にいるのです。

10万円という含み損。

パーセンテージで言うと、10%です。

だけれども、100万円の<mark>証拠金</mark>で、

10%・10万円の**含み損**を持つと、<mark>他が手に付かない、</mark>

<mark>もうドキドキする、慌てる</mark>という人もいます。

片や、20%までは**全然問題ない**という人もいます。

30%の人もいます。

50%の**含み損**を持っても、**全然気にならない**という人もいます。

これは人によって、違うのです。

なので、ご自身が、

まずはどこが、自分の中での限界値なのか

ということを**知っておく必要がある**のです。

「ここを超えると、ちょっと手に付かないな」

「気になるな」

「頭が FX のほうにばかり行っちゃうな」

というところが、どこの**ゾーン**にあるか、 これをまず**明確に認識する**ことです。

私はだいたい50%ぐらいです。

例えば30%だと何も気にならないです。

50%ぐらいになると、意識が入ってきます。

「そろそろちゃんとやらないとね」とか、

「慎重に見ようかな」とか。

何か 10%、20%だと、

「放っておいてもいいや」みたいな感覚にはなります。

この認識で、

ここでまずおおよそのロット数が決まります。

スタートで入る**ロット数**。

あとは、足していける**ロット数**。

あとは全体、例えば<mark>分散</mark>する状態であれば、

どれの、どの通貨にどのロット数を入れるかというところ、

分散も含めた**ロット数**が、おおよそ決まってきます。

そして、

<mark>パーセンテージで見れますか</mark>ということです。

パーセンテージで見る、

これはぜひ<mark>癖付け</mark>をしてほしいところです。

100万円の含み損の10%は、10万円です。

1億円の含み損10%は1,000万円です。

さあ、

この状態を見て、<mark>「あれ」</mark>と気付けばいいです。

「**あ、別にどちらも同じだ**」と思えるか、

それとも、**金額に焦点が当たってしまうのか**です。

この 100 万円の含み損 10%は 10 万、

この「10%」で見られているか、

同じような心境でいられるかということです。

ここの<mark>分岐点を把握する</mark>のです。

金額ではなく、全てパーセンテージで見られていれば、

問題ないのです。

10万円の含み損10%というのは、

1万円ですから。

では10億はとなると、1億なわけです。

要は「同じだな」と見られていれば、全く問題ない。

でも、

パーセンテージで見れなくなる分岐点を知れば、

今度は、入金する証拠金が決まってきます。

「100万円の10%で10万円は、

いやなんか、10%と分かっているのだけれど、

10万、キツイよね」

と思うのだったら、50万にすればいいのです。

下げるのです。

問題ないよというゾーンをよく観察して、

知ることをやってほしいのです。

そうすると、

「動かせるお金が 1,000 万ある」となったら、

1,000 万入れて、**含み損** 10%で**グラグラ**しているよりは、

それを300万とかで抑えていったほうがいいよってなるのです。

要するに、

動かせるお金がいくらというよりも、

自分がパーセンテージで見られなくなる金額。

見られる金額と、見られなくなる金額の境目を、

知っておかないといけないわけです。

なぜそうなのか。

個人の金銭感覚と、

<mark>リンクしてしまう分岐点</mark>を見つけるのです。

例えば、5万円というのは、

サラリーマンの平均的なお小遣い。

例えば、そうだとすると、

パーセンテージではなくて、

5万円という金額が、

個人の金銭感覚にリンクしてしまうのです。

そうすると、

サラリーマンの人が、

200 万とか 証拠金を入れて、

含み損 10%とか持つと、20 万です。

パーセンテージで言えば、

10%で大したことないのに、

個人の金銭感覚とリンクしてしまいます。

例えば 20 万円だったら、

「わあ、自分の手取り収入に近いよ、含み損が」。

そうすると、いろんな憶測が働くのです。

今 FX ですごいのが、

この5万円に関しても、

- 1日で5万円増やすことも、稼ぐこともできるし、
- 1日で、変な話、何分の世界で、

なくすこともできるのです。

ゆえに、

自分の金銭感覚とリンクしてしまわないところで、

<mark>やらないといけない</mark>のです。

例えば車1台が500万だとしたら、

車1台だよねって、重ね合わせてしまったりする。

3,000万円だったら、

田舎の一軒家だったりというふうに、

抱えている借金の総額ですよね、

そういうところと**リンク**させてしまったり。

これをやると、

<mark>決めたことがやれなくなる</mark>場合があります。

なので、

例えばサラリーマンの人であれば、

入れる証拠金は、自分の月収と同じ程度、

まずは20万、30万からやる。

それが慣れてきて、

<mark>パーセンテージで見られるようになったら、</mark>

<mark>増やしていけばいい</mark>だけです。

証拠金を追加していけばいいだけです。

最初からボンと入れないということ が、

とても大事なのです。

やはり、

経営者の方は仕事で 1,000 万、2,000 万という お金を動かす機会があります。

なので、

どちらかというと、**金銭感覚の幅**というのは、 お勤めの方よりは、広いわけです。

だから、

サラリーマンの方は、金銭感覚をよくご自身で観察して、 大きいお金をバンと入れるのではなく、小さく始めて、 徐々にパーセンテージを見るのに慣れてきたら 増やせばいいという発想を、

ぜひ持っていただきたいと思います。

あとは、**借金を持っている人**。

これは<mark>借金の金額とリンクさせてしまう</mark>という

ケースが多いので、それも一旦横に置いておいて、

あくまで自分の金銭感覚と、

照らし合わせてほしいなと思います。

個人の金銭感覚と

リンクしないゾーンを発見してください。

自分で想像したり、紙に書いていったりしながら、 発見していくのです。

そして、**リスク**の概念の違いをお話します。

リスク概念の違いです。

これもいい、悪いじゃない、

考え方が違います。

やり方に関しても、

どれがいい、どれが悪いというのではないのです。

スキャルピングなどで、

1日エントリーして、

決済まで考える人というのがいます。

多くは、15分足、5分足を使っていくというパターンです。 この人が考える**リスク概念**です。

<mark>ポジションを持っていること</mark>を、

最大のリスクと考えているのです。

<mark>ポジションを持ち越すこと</mark>、

こういうことがリスクである。

週をまたいでいくこと、

これがリスクだよねと。

例えば、

窓開けとか、朝とか週末とかの、

ちょっとした**スプレッド**が広がるところ、

こういったところがリスクなのだから、

入ってその日のうちに、決済をしてしまいましょう。

なぜならば、

その手数料の広がり、

スプレッドの広がりを避けたいからです。

短期で決着をつけて、それを重ねていく。

今日いくら、今いくらというのを、

<mark>重ねていくことがいい</mark>と考えるのです。

だいたい **10 から 100pips** の間の決済です。

これを目処に<mark>決済をしていくという感覚</mark>です。

pips や金額で、<mark>決済場所</mark>を決めます。

何 pips だから、決済という決め方です。

10 pips で**決済す**る、**8 pips** で**決済**する。

15 pips、30 pips で**決済**するというように、

pips で決めていくということが多いです。

そして、

期間が長く、

1週間から6カ月以上、

<mark>ポジションを持つ人</mark>です。

これは、

どちらかというと、

私はそういうタイプです。

何をリスクと考えているか、

FX 会社が相場を動かしてくることが

<mark>リスクですよ</mark>と、考えているのです。

例えば、

ターゲット、ロスカットを入れると、

そこに価格が到達してしまうということが、

<mark>リスク</mark>なのです。

そうであれば、

ロットを小さくして、

長く持つという選択をするわけです。

「目先増えなくてもいい、

今日いくら増えたとか、明日いくらとか、あまりいいや」

というふうに思えているのです。

さっきとは全然違います。

目先のお金をコツコツ、

今日いくらというのを、積み上げたい人、

「今日いくらは、別にどっちでもいいや、

3 カ月、半年後でいいや」と思える人との違いです。

そして、

pips や金額というよりも、

この場所に来たら、決済する。

<mark>場所決済</mark>というのをやっています。

私もどちらかというと、場所決済です。

Pips や金額ではなくて、

場所で、決済場所を決めているようなものです。

なので、

この<mark>リスク概念の違い</mark>があるので、

これも、どちらがいいとか悪いとか 言っているのではないのです。

このリスク概念を、

どちらが、<mark>自分に最適であるかを</mark>

<mark>見つけるということ</mark>が、すごく大事です。

どっちがいい、

私はどっちがいいんだろうと。

当然期間が、

1週間や6カ月のポジションを持つ人は、

当然**リスク**があります。

そして**短期売買**、1日で**決済**していく人にも、 **リスク**があります。

これはどちらもリスクがある。

<mark>常に **50 対 50** で</mark>すということを、

理解してください。

ご自身の最適なトレード種類が、

ピンときたかどうかです。

この**メルマガ**をお読みになっている人が、

どのような性格で、どういう考えの下で、

どのようなお金を普段から扱っているか。

これはさすがに、

私は分からないので、

<mark>今の情報をもって、自分で見つけていくということ</mark>が、

すごく大事になります。

ここで言いたいのは、

何がいいとか悪いとか、言っているのではないのです。

これがいいとかではなくて、

<mark>どちらも 50 対 50 のリスクとリターン</mark>がある。

それに応じて、

自分にとって、コントロールできるところ、

決められるというところに、

どれが最適なのかを、

ちゃんと見つけていくということが、大事なのです。

毎日コツコツと利益を積み上げる

可能性の反対側には、

毎日コツコツ損失していく可能性があるわけです。

この点で、

デイトレやスキャルピングの利点は、

<mark>毎日コツコツ利益を積み上げる可能性</mark>です。

どちらかというと、**達成感が**ある感じです。

今日は何ドル増えたよ、

というふうな、達成感はあります。

逆を言えば、

毎日コツコツ利益と、

<mark>毎日コツコツ損失</mark>ということも、考えられます。

そして、

マイナスが出た日は、また翌日です。

例えば500ドルを1週間続けた、

プラス 500 ドルを 1 週間続けた、

だけど、それが3日連続500ドルずつ減っていった。

そしたら、**取り戻したいという感覚**になるのです。

なんとかして、取り戻したい。

だって、せっかく時間を使ったのだから。

これが、 コツコツドカンの発症なのです。

<mark>マイナスが出たときに、取り戻したいという感覚</mark>です。

これが コツコッドカンの発症になります。

なので、

これがある意味、精神的な部分のリスクになります。

いい部分は、

コツコツ利益を積み上げられる。

でも、リスクは、

コツコツ損失していく可能性がある。

そのときに、

何が起こるかといったら、

取り戻したいという感覚が湧いてくるわけです。

その湧いてくるということと向き合って

「あ、これでいいんだ」って

通常に戻れる人なら、良いと思います。

ただ

コツコツドカンをやってしまう人って、

だいたい「取り戻したい」とか、

「損失が嫌だ」と思っているからです。

どちらを捨てることができるかです。

取り戻したいという感覚を、

「嫌だ、手放せない」と思えば、

毎日コツコツ型をやめるというふうになります。

取り戻したいというメンタルを、

捨てられるとなれば、

毎日コツコツ利益を積み上げる方法を、

取ってもいいということになります。

どちらを捨てることができるか。

「チェックシートとかあるといいのにな」と、

私はたまに思うのです。

これは私の妄想というか、

あれなんです。こんなのがあればいいですねという感じ。

「経営者ですか」→「イエス/ノー」みたいな。

「従業員ですか」→「イエス/ノー」

「月収いくらですか」→「イエス/ノー」

「借金はありますか」→「いくら/無い」とか。

「**小銭気にしますか」→「テイッシュの価格気になります」**みたいな。

「どうしても卵が 150 円と 100 円のところがあると、 100 円のほうに走ってしまいます」みたいな。

ガソリン代のほうが高いんじゃないか、

「お金と時間どっちが大事ですか」

「お金のためなら、24 時間時間を割けますか」 「含み損何%まで正気でいられますか」。

こういう質問事項があって、スタートを押すと、

あなたの**適正の証拠金**はいくらで、

あなたは、**何々手法の何々タイプが最適**です。

ボンと。

出るといいですね。

そんなのがあれば、

いいですけどね。

無いので、

自分で見つけていくということになります。

まとめです。

トレードの種類に、いい、悪いはないということです。

最適を見つける。

デイトレ、スイング、

どちらでも構わない。

どちらでもいい。

そして、もう1つ、

欲に任せた決定をしない。

証拠金の金額のことです。

「毎月 10%ぐらい出るのだったら、

100万じゃなくて、500万にしよう」とか、

これは欲に任せた決定です。

投資家判断。

自分に最適な金額。

さっき言ったような**ワーク**とか、 そういうのをやっていただいて、 そこで決定するのです。

欲に任せた決定をして、

<mark>いいことは、1 つもないです</mark>。

よく、

投資詐欺にあう人というのは、

だいたい欲に任せた決定をする人です。

そして、

金額、パーセンテージから、

最適な証拠金を決定をしましょう。

そして最適化は

自分と向き合わないとできないのです。

要するに、

他人というのは、

あなたの内面を知らないです。

小銭を気にしているか、

分からないです。

だから1回自分と向き合って、

お金とか向き合って、

「何かこのぐらいの金額になると、

利益になってもドキドキするよな」とか、

いろいろ向き合っていくことが、

とても大事になります。

すごくぼやっとしている

かもしれないですけれども、

かなりそれなりに、

詰めた話になっているかなとは思うのです。

本当はこういう話って、

1 人 1 人向き合ってお話をしているので、

今回はメルマガという場で、

この情報を基に、

ご自身で最適な金額というのを、

見つけていくということをしていただきたいなと思います。

今日の**メルマガ**はいかがだったでしょうか?

次回は、**「FX 必勝法その 5」**について、

お話させていただきたいと思っております。

「その5」の内容は、

「連続取引のお勧め」という内容で、

次はお届けしたいなと思います。

連続取引です。

これは、ひとまず、

スキャルピング的なところだと、

ちょっとやりにくいのかなとは思うのですけど、

ある程度長いスパンでやれる人であれば、

この連続取引というのを知って、

取り入れてみたらいいかなというふうに思っております。

最後までお読みいただき、有難うございました。